

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立大森第六中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽的理論や楽典的知識の理解度は高く、さらに学ぼうとする姿勢がある。
- ・積極的に挙手・発言しようとする生徒が多い。少人数での話し合いにも前向きに取り組む。
- ・ICT 機器を使用する授業内容が増えた。

(2) 課題

- ・自信を持って自分を表現することに抵抗をもつ生徒がいる。
- ・全ての活動にSDGs を関連づけることが難しい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

実施なしのため省略

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
変声期に入った生徒に配慮した指導を心がける。一人でも自信を持って歌唱表現できる力をつけさせる。 リズム読みの練習を充実させ、読譜力をつける。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、明るく素直な歌唱を目指す。	子どもの意欲を引き出す課題の設定。 目標をもち、歌唱することへの抵抗をなくす。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
リズム練習を充実させ、読譜力をつける。 豊かな響きを作るために自らもっている音色に気づかせ、伸ばしていく発声法に留意する。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。 楽器の音色や役割、曲の構成など関連づけて指導する。	子どもの意欲を引き出す課題の設定。 目標をもち、歌唱することへの抵抗をなくす。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽曲の構成や各パートの役割等も考えながら、全体の響きを味わって表現出来る力を養わせる。 世界の多様な音楽の理解と日本の音楽についての理解を深め、優れた演奏を多く聴く機会をもつ。	楽曲に対するイメージを持たせ、ICT を適宜使用しながらクラス全体で意見を共有し、深い学びにつなげる。 楽曲に対するイメージを表現するために、具体的な方法を体現させる。アプローチの仕方についても工夫させる。	「何のために」という目的感と、課題ごとの目標を明確にする。 最高学年として学校全体の歌声をリードする自覚をもたせ、主体的、計画的な取り組みをさせる。